

とらしいの山甲から

たいぶさみさき

大房岬自然公園ニュースレター No.100

2015年
6月



ゴールデンウィークを過ぎて、岬は学校の遠足や保育園の子ども達の声が響くようになりました。磯では生き物観察、森では岬探検と自然の中の体験を楽しんでいるようです。

たいぶささんぽ

あたたかくなり、生きものたちが活発に動き出しています。おさんぽ中に危険な生き物に会ってしまうかも!?



公共駐車場から海岸へ抜ける階段に水を飲みに来ていることがあるので要注意!!

注意

ブブブ...という音がしたら気をつけて!

スズメバチにご用心!

巣作りで、スズメバチも活発に活動しています。刺されると激痛がはしり、アナフィラキシーショックを起こしてしまうこともあります。刺されないように...

- ① 黒いものに寄るので、帽子をかぶる。
- ② 大声を出してさわがない。
- ③ ハチから目を離さずゆっくりとその場を立ちさる。

を心がけて下さい。

かみつたり、おしりの針で攻撃してきます。 →



のんびりひなたぼっこ

～アオダイショウ～

ビジターセンターから南芝生園地にぬける道の途中、ひときわ日のあたるコンクリートの壁でアオダイショウが気持ちよさそうにひなたぼっこをしています。大胆なヘビは道路に体をのびして寝そべるものまで。太陽の光をあびてきらきらと光る青緑色のウロコをゆっくりと観察できるチャンスです。ちょっと苦手な方の多い生きものですが、よく



見てみると意外と好きになるかもしれませんよ。

←いじめるとかみついてくる場合があります。遠くから見てね。

開花情報

～ホタルブクロ、ハマエンドウ～

これからの季節に見頃を迎える花たちです。園内を散策しながら探してみてください。

○ホタルブクロ(6月)



ホタルが舞う季節に開花します。日陰でも元気に育ちます。

○ハマエンドウ(4-7月)



濃紫色のスイートピーに似た花を咲かせます。海岸の近くで見ることができます。

「大房岬探検へ出発!」 →→→→→ 裏面へ

大房岬探検へ出発!

Let's Go!!

大房岬は昔は信仰上の聖地として大切にされ、近年には軍事施設として利用されました。岬には探検するとわくわくするポイントが盛りだくさん! 大人も子どもも楽しむことができます。休日に探検家の気分を味わいに岬へ来てみてはいかがでしょうか。スタッフ一押しの場所をご紹介します!

探検にきてわからないことは
ビジターセンターへ!



1、弁財天洞窟 ~昔話~

第二展望台の横から、急な階段がのびています。この階段を下りていくと弁天様のまつられている洞窟が姿をあらわします。実はこの洞窟、大房岬から8キロほど離れた那古弁天までつながっているとか…。



第二展望台横から出発!



階段はすべりやすいので気をつけて!



2、探照灯格納庫跡 ~戦跡~

近年、帝都(東京)防衛のために要塞化された大房岬。現代にもたくさんの要塞のあとが残されています。探照灯格納庫もその一つ。日の光が差し込む風景がよくカメラで撮影されています。大人の方にも人気のスポット。第一キャンプ場の横、散策路奥にあります。

時代劇や戦争の再現VTRの撮影に大房岬が使われています。知ってる景色があるかも。探してみね。



3、タイマイ浜 ~自然~



大房で大人気の磯遊びポイント。昔、タイマイというウミガメの仲間が卵を産みに来たそうです。磯の潮だまりにアミとバケツを持って遊びにいこう! おもしろい生きものを見つけてみよう!



ボランティアスタッフ募集中!

大房岬の自然と一緒に守っていきませんか?
気持ちいい汗をかいてみませんか? 様々なプログラムがございます。
興味のある方はご連絡下さい。

6/8(月)スイセン刈込み、海に見える展望台へ! 6/22(月)ドクダミ刈りとドクダミの活用

- 9:30~15:30(途中参加、一部参加OK!)
- どなたでも ● 水筒、軍手、弁当をお持ち下さい。



申し込みはこちらまで↓
TEL:0470-33-4551

新スタッフごあいさつ 飯塚伊代

生きものを見つけたら
教えてください!

前任の白井が産休に入り、赴任してきました。昔から生き物が大好きで、特に鳥とへびを見つけては観察を楽しんでいます。公園を訪れる方にも生きもの観察の楽しさを感じてもらえるようにお手伝いします! ビジターセンターや公園内でお会いしましたらぜひ、声をかけて下さい。

